

現代社会 (Current Society)

担当教員

准教授 野崎 亜紀子

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
人と文化	2年次 後期	講義	1.5単位	選択

【概要】

私たちの生きる社会（それは日本という国に止まりません）における秩序のあり方を問う、という試みを行います。自分（たち）とは相容れない考え方に立つ者がそこに（あるいはどこかに）現実に存在する。しかし同時に、社会には一定の秩序があるのはなぜ？私が善いと考えていることは、果たして本当に他の人にも"善い"ののだろうか？他の人にそれを押しつけることができるのだろうか？そしてそれは正しいのだろうか？こうした疑問について、理論的に考え、そして実践的にも考えるという、相互交通を行います。

本講義は、受講生の人数によっては、演習形式で開講することもあります。

【授業の一般目標】

私の課題と、公共（私たち）の課題とがどのように結びつき得るのか、切り離され得るのか？正しさを語るとはどのようなことなのか？それは語り得るのだろうか？時に悶々と悩みながら、なんとかそれを言葉に表現し、また表現された他者の言葉を理解し、相互に理解できる／できないことがあることを知り、その先を考えるための作法の獲得を目指します。

【準備学習(予習・復習)】

提示した資料を読むこと（事前・事後）。課題に取り組むこと。日常の社会問題に関する基本的知識を前提とするため、新聞を読み、幅広く社会に起きる事柄に目配りをする。単位修得のためには十分な予習・復習が必要となります。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	「現代社会」を学ぶために	野崎	本講義の概要を確認し、講義の基本方針、進め方、取り組み方を理解する。
2	現代正義論（1）	野崎	現代正義論の議論状況の概略を知る。
3	現代正義論（2）	野崎	同上
4	J.ロールズの正義論（1）	野崎	J.ロールズ『正義論』を読む。
5	J.ロールズの正義論（2）	野崎	同上
6	J.ロールズの正義論（3）	野崎	同上
7	J.ロールズの正義論（4）	野崎	同上
8	J.ロールズの正義論（5）	野崎	同上
9	現代正義論の議論状況（1）	野崎	ロールズ正義論以降の現代正義論の議論状況を知る。（M.サンデル）
10	現代正義論の議論状況（2）	野崎	同上（M.サンデル）
11	現代正義論の議論状況（3）	野崎	同上（M.サンデル）
12	現代正義論の議論状況（4）	野崎	同上（R.ノージック）
13	現代正義論の議論状況（5）	野崎	同上（ケアの倫理）
14	現代正義論の議論状況（6）	野崎	同上（ケアの倫理）
15	総括・まとめ		

（書名）

（著者・編者）

（発行所）

教科書 必要に応じて、提示・配布します。演習形式での開講時には、購読テキストについて別途講義時に提示します。

参考書 必要に応じて、提示・配布します。

【成績評価方法・基準】

成績評価は、期末試験および提出課題の内容によります。評価は絶対評価とし、講義内容および十分な事前事後学習を踏まえた課題・試験解答となっているか、この2点を基準とします。なお、演習形式で開講時はこの限りではなく、演習への取り組み（演習への準備、発言等の態度）を総合的に評価します。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

オフィス・アワー、その他の時間帯はメールで連絡の上、研究室まで来てください。他、メールでの問い合わせも、可能な限り受け付けます。オフィス・アワー、メールアドレスは、初回講義時に伝えます。